

# ■衆院選2014マニフェスト（政権公約）のできばえチェック表 【衆院選2012との比較】

※点数は、「2014の点数 ← 2012の点数」

基本項目	配点	項目	政党名																							
			自由民主党		公明党		民主党		維新の党		次世代の党		日本共産党		生活の党		社会民主党									
			2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012								
①理念・ビジョン	10	点数	4	6.5	4.5	6	5	6	3	6	5	-	4.5	6.5	3.5	-	3.5	5								
		コメント	ありたい国の姿（理念・ビジョン・将来像）が示されているか		ありたい国の姿の根拠・着眼点が示されているか		国家としての課題が捉えられているか		政権奪取後の実績と継続の意気込みは伝わってくるが、どの様な国家像を目指しているかは伝わってこない。		一般家庭における生活者の目線で全体的に描かれている構成は好感が持てるが、国家の将来像までは伝わってこない。		自民党と対峙する意気込みは伝わってくるが、国の将来像が描かれていない。		国民へ求める前に国会議員から、という「先ず隗より始めよ」の意識は強く伝わってくるものの、日本のありたい姿が伝わってこない。		「次世代が希望を持てる日本を」という考え方は共感できるが、それがどのような事なのかを示されていない。		現政権との対立軸は鮮明になっているが、日本の将来像が描かれていない。		アベノミクスへの考え方は示されているが、党としての国の将来像が語られていない。		現政権への批判は鮮明だが、自身のありたい姿が明示されていない。			
		2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012							
②政策の体系性・一貫性・独自性	10	点数	5	7.5	6	8	5	6.5	5	6.5	5.5	-	6	7	3.5	-	4.5	7								
		コメント	ビジョン・方針・政策が体系化されているか		相互に矛盾する内容が無定見に盛り込まれていないか		独自の政策が示されているか		これまでの政策を継続する内容が中心となっており、おおよそ、体系だてられて示されている。		地方創生を横軸とし、各分野にわたり体系だてられている。		自民党が掲げる課題や重要課題を前面に押し出している印象。		政策はあまり体系だてられていないが、独自性は鮮明になっている。		主要政策が示されているが上記ビジョンを実現するための政策が体系だてられていない。		党の独自性は伺えるが体系だてて示されていない。		3つの柱の理念は語られているが、その内容が示されていない。		4つの重要政策に絞り込まれているものの自民党への対立軸が優先され、体系だてられていない。			
		2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012							
③政策の具体性・実現可能性	20	点数	9	10	9	11	6.5	12	7.5	9	7	-	8.5	9	5.5	-	6	9								
		コメント	政策の目標・期限・実現方法（工程）・財源などが明示されているか		達成度・成果の事後検証は可能か		目標・政策の実現可能性について、合理的な説明がされているか		実行体制・実行プロセスは示されているか		経済再生・財政再建の分野については具体的に示されているところがあるが、その他は曖昧な表現にとどまっている。		5つの重点政策と当面の重要政治課題とを分類している点はわかりやすい。ただ、内容が抽象的で実現可能性が伝わってこない。		財政根拠が示されていないなど抽象的な内容にとどまっている。		財源根拠が明示されている。また、その他の政策でも目標数値が示されているところが多い。ただし、実現手法などは示されていないため実現可能性は不明。		政策の具体的な目標や実現手法、財源根拠が示されていない。		財源根拠は明示されているものの実現可能性を期待させる内容とはならない。		政策の具体的な中身が不明。		各分野ともに政策は示されているが、そのどれもが実現可能性を示していない。	
		2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012							
④市民起点度	10	点数	5	6	6	8.5	6	8	4.5	4.5	3.5	-	5	4	3	-	3.5	2.5								
		コメント	読み手に取ってわかりやすい工夫はされているか		マニフェストの配布・周知の工夫はされているか		策定過程において国民の提案を組み込むプロセスを有しているか		文字が多く、小さい。どの政策が優先度が高いのかもわかりづらい。ただし、SNSを活用したりホームページで概要版を示すなどICTを積極的に活用しているところは好感が持てる。		分野ごとに色分けされて見やすい。また、子供目線で「こどもマニフェスト」も作成されており内容を伝える工夫が見られる。		ホームページでは音声ガイドや子供マニフェストの作成なども伝えようとする工夫はみられる。また、SNSなども活用している。		動画を多用しており文字だけでなく映像で伝える工夫が見られる。		ホームページなどでも政策の具体的な内容が解説されていないなど全体的に内容がわかりづらい。		文字が多く読みづらい。ただし、カクサン部などアニメを使って周知しようという工夫は良い。		生活者目線を強調するが、読み手への伝え方に工夫が見られない。		4つの約束にまとめたところはわかりやすいが、文字が多く、その内容が読みづらい。今後は他が取り組んでいる動画での解説なども検討してほしい。			
		2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012	2014	2012							
計	50	点数	23	30	25.5	33.5	22.5	32.5	20	26	21	-	24	26.5	15.5	-	17.5	23.5								
		100換算	46		51		45		40		42		48		31		35									
		総合コメント	現行政策を継続するという力強い意志は伝わってくるが、どのような国家の将来像を描いているかが不明であるため、経済・財政性再建を強調しても、その後の姿が見えづらい。 経済政策については方向性・具体策が体系的に示されているが、全体としての国の将来像、理念・ビジョンは不明確。特に財政再建は、かけ声は大きい、消費増税のほかに構造的な改善策が示されておらず、財政の大幅な悪化の懸念が払しょくできない。政策BANKには多くの政策があげられているが、抽象的なスローガンが目立つとともに、羅列の印象が強く、体系性・一貫性が見出しにくい。		読み手を意識した工夫が見られる。特に子供向けマニフェストの作成が光っている。子育て世代も子供と一緒に読める内容となっている。現政権の経済政策の方向性をベースとしつつ、家計支援や中小企業支援を重点的に提示していることは理解できるが、経済政策との整合性が十分に取れているのかは疑問。根拠の弱い「いいとこどり」になっていないか。 社会保障や教育等については、幅広い政策が提示されているが、財政再建に向けた考え方や政策がほとんど掲げられておらず、ウィッシュリストに近いと言わざるを得ない。		政権を取り戻したいという強い意志は伝わってくる。また、読み手に届けようとする工夫もみられる。ただし、財源根拠や将来像など政策根拠が曖昧である。 現政権の問題点とそれを踏まえて党として目指す方向性は明確でわかりやすい。しかし、それを実現するための経済政策3本柱が、今の違いがわかりにくい内容になっている。さらに、それに続く重点政策も、現政権の方向からどのように転換するのが見えにくく、テグハグ感が否めない。 また、抽象的な内容が多く、具体的な目標や実現プロセス、財源などの言及はほとんどない。		先ずは国会議員向けの改革を行ってから、という点は強い意欲を感じることが出来る。 現政権の批判と、それに対する改革の提案がマニフェストの構成の柱で、個別の改革の内容はわかるが、全体としての将来像やビジョンは明示されていない。現政権に対する分析も、ポイントがわかりにくく、何を指すようとしているかが伝わりにくい。政策によって濃淡の差が大きいのも、統一感の乏しさに通じている。 大阪府、市における実績が、地方からの目線の政策にあまりつながっていないのではないかと懸念がある。		現政権への批判の他に党として何を重視するのかを読み取りづらい内容となっている。 自主憲法の制定や外交政策・教育政策などにはっきりとした方向性を打ち出しており、将来像・ビジョンが明確。議員立法による法案を提示している点は、政党マニフェストとして画期的。ただし、政策や法案の具体的な内容や実現プロセス、財源等が明確でないため、実現可能性を判断しにくいところがある。 また、消費税引き上げのための条件を示している点はやや抽象的。		現政権への対立姿勢を明確にし、5つの転換点として整理しているのはわかりやすい。その際の財源確保と経済政策の実効性が論点となるが、消費税に頼らない財源の提案を具体的に書き込んでいない。3つの重点分野の実効性についてはなお疑問も残るが、丁寧に説明している点は評価できる。ただし、独自の政策内容と実行手法を鮮明にしてほしい。 紙のマニフェストによる概要とホームページによる個別政策の詳細を連動させている点もよい。		党の政策も曖昧な上にホームページ等での周知方法に工夫が見られない。 「生活者本位の国へ。」というスローガンは掲げられているものの、具体的な将来像・ビジョンとしては描き切れていない。3つの重点分野が示されているが、それぞれについて課題・問題点の説明が中心で、それに対してどのような対策をしていくのか、ははっきりしていない。 財政制約または財源について触れられていないところ、財政再建に向けた政策が書かれていないところ、はマイナス。		現政権への対立軸は鮮明で自身の立ち位置はわかりやすい。しかし、そのことが日本の将来にどのような影響を与えるかが語られていない。 「平和と福祉はやっぱり民主党」というキャッチフレーズの後は、いきなり4つの約束の記載になっており、目指す将来像・ビジョンがわかりにくい。4つの約束の中に書かれている政策の方向性は比較的是っきりとしているが、具体性と体系性に課題が残る。財源確保の考え方を示している点は評価できるが、抽象的なものも目立つ。 無駄遣いをやめることで年間3兆円もの削減を位置付けているのはいかがなものか。									

採点： 10点・・・条件を満たしている

条件を満たす割合に応じて配点  
 (例) 条件の8割程度満たしている：8点  
 条件の3割程度満たしている：3点 等

0点・・・条件を満たしていない

※ 維新の党は2012の「日本維新の会」の点を引き継ぎ

※ 「③政策の具体性・実現可能性」は2倍の配点